

信徒による説教奉仕のためのオンライン演習のご案内

講師 青木豊（四国説教塾代表 高知旭教会牧師）

助手 杉本和彦（東京説教塾 ICU 教会教員）

信徒向けの説教作成プログラムを開講します。説教を頼まれてしり込みしてしまう方、自己流の説教をよりよくしたい方、一緒に学びましょう。故加藤常昭先生が日本に紹介し広めてきた説教作成プロセスを学びながら全6回のプログラムを通じ受講者が実際に説教を作りあげるオンライン・全員参加型演習トレーニングです。

<説教塾の先生方へ>

ご自身の教会でもサポートしている無牧の教会でも、説教奉仕できる信徒を育て増やすことは大切な伝道課題でしょう。ぜひ祈りをもって信徒の方を派遣してくださるようお願いいたします。

【対象者】

- ・キリストの教会の信徒が対象です。教派は問いません。
- ・説教歴、教会役員や教会学校教師であるか否かなどの資格は問いません。
- ・ヘブライ語、ギリシャ語が出来なくても大丈夫です。
- ・説教することに喜びを感じたい方、隣人に福音を届けたい方、大歓迎！
- ・PC、ワード、メール、Zoom の利用を前提とします。技術的サポートはいたしません。
- ・説教作成のために全6回の出席（オンライン）、宿題の提出、討議への積極的な参加を求めます。

【プログラム概要】

- ・全6回のプロセスを通じて各自「マルコによる福音書第2章1－12節」の説教を作成します。
- ・隔週火曜日夜7時～9時のZoomによるオンライン開催
- ・作成する説教は大人の礼拝向けでも子どもの礼拝向けでも構いません。

	開催日	内容	次回までの宿題
1	2026/9/29	オリエンテーション（説教作成プロセスの説明と演習の進め方。「第一の黙想」のやりかたなど）	次回までに「第一の黙想」を作成し提出する
2	10/13	受講生の「第一の黙想」を用いた討議	次回までに参考文献（注解書）を読んでおく
3	10/27	参考文献（注解書）を読んだの討議	次回までに参考文献（黙想）を読んでおく
4	11/10	参考文献（黙想）を読んだの討議	自分の説教黙想を深める（提出はしなくてよい）
5	11/24	説教作成に向けて総合討議	次回までに説教を完成させ提出する
6	12/8	説教演述（数名）と討議	-

（注）参考資料（注解書と黙想）は受講者にメールで提供します。

【受講料】

- ・ 2,000 円/人（全6回分です。やむを得ず欠席する場合も返金はいたしません。）

【申し込みについて】

- ・ 受講者：最大8名まで（原則として先着順）
- ・ Step 1：受講申込み

受講者本人が、メールで、以下の事項を記し、以下の宛先に申し込んでください。

＜申し込み記載事項＞

受講者氏名、所属教会名、教派名、電話番号、受講希望の理由（さらりとで結構です）

＜申し込み宛先＞ 助手杉本宛：sugi-net@muu.biglobe.ne.jp

＜申し込み締め切り＞ 2026/9/20（日）必着

- ・ Step 2：受講料の振込

＜受講料の振込先＞ 助手より受講が確定した方に別途メールでご案内します。

＜受講料納付期限＞ 2026/9/28（月）

- ・ Step 3：受講開始

＜受講で用いる Zoom＞ 助手より別途メールでご案内します。

＜資料＞ 助手より別途メールでご案内します。

- ・ 基本的には現在お持ちの聖書があれば大丈夫です。買い揃えなければならない参考文献があるわけではありません。とはいえこちらで用意する資料では物足りないという方には適宜更なる参考文献をご推薦いたします。

＜講師/助手の横顔＞

説教塾塾生による説教集『神の喜び、ここに始まる；マルコ福音書講解説説教集』（教文館、2025 年）に、講師青木豊、助手杉本和彦それぞれの説教が載っています。いずれも生前の加藤常昭先生を知る塾生歴の長い塾生です。加藤先生の思い出話をも交えてトレーニングを進めていくことになるでしょう。

以上